

令和5年度あだち新製品開発講座 募集要領

新たな製品開発や事業開発に挑戦してみませんか！

本事業では、ハードウェアをメインにした課題解決型の新しい製品開発や事業開発に取り組む事業者に向けた支援を行います。個別で実施する「伴走型支援」と参加事業者全体への「ビジネス開発講座」で、事業戦略から製品開発、マーケティング、資金調達まで総合的に学び、実践するプログラムです。

- ◆ 対 象 下記のいずれかの要件に該当する事業者
 - ・ 中小企業基本法第2条第1項に定める中小企業で、区内に活動実態のある製造業事業者
 - ・ 区内で製品開発（全部または一部）を進めている（あるいは計画している）企業または団体

- ◆ 実施期間 令和5年6月下旬から令和6年2月末まで

- ◆ メンター TOKYO 町工場 HUB 代表 古川 拓 氏

- ◆ 募 集 数 3社

- ◆ 募集期間 令和5年5月1日（月）から5月31日（水）まで
別紙「申請書」を郵送またはFAX、窓口にてご提出ください
「申請書」をもとに参加事業者を決定します

- ◆ 参 加 料 無料（但し、製品開発費用等の必要経費は全て自己負担）

問い合わせ先

足立区 産業経済部 産業振興課 ものづくり振興係
〒120-8510

足立区中央本町一丁目17番1号

足立区役所 南館4F

TEL：03-3880-5869 FAX：03-3880-5605



あだち新製品開発講座「足立ものづくりアクセラレータープログラム」（以下、本プログラム、または A-MAP と呼ぶ）は、製品開発を伴う課題解決型のスタートアップを対象にした伴走型の事業開発支援プログラムです。

1 事業の目的

ロボティクスや AI などの技術革新が進み、社会が大きく変化している中、新しい製品開発やサービス構築に挑戦するスタートアップは、これからの社会や経済の発展にとって益々重要な役割を担うようになっていきます。シリコンバレーを筆頭に、世界中で新しいスタートアップが次から次へと生まれており、日本でも新時代を切り拓く挑戦者たちがたくさん立ち上がっています。

しかし、スタートアップが成功するには、多くの谷を渡り、山を越えていく必要があります、その道のりは険しいものです。特にハードウェアのスタートアップには、多くの困難が待ち受けています。

A-MAP では、スタートアップの事業活動を戦略的に支援するアクセラレータープログラムです。事業者が、直面している課題と向き合い、事業を戦略的に構築し、活用できるあらゆるリソースを使いながらビジネスを加速させることを目標に、側面支援します。

2 事業概要

(1) A-MAP が支援するスタートアップ

A-MAP が対象とするのは、課題解決型のスタートアップです。事業のビジョンがあり（解決したい課題と解決へむけてのアイデアがある）、今までにない製品やサービス、ビジネスモデルの開発を目指し、具体的な事業活動を始めている事業体で、以下のいずれかの形式要件を満たすことが条件です。

- ・ 中小企業基本法第2条第1項に定める中小企業で、区内に活動実態のある製造事業者
- ・ 区内で製品開発（全部または一部）を進めている（あるいは計画している）企業または団体

創業年数に関わりなく、新規創業した事業体に加え、既存企業の事業転換や新事業開発部門も含まれます。製造事業者だけでなく、ロボティクス、AI（人工知能）やIT（情報通信技術）などを開発する研究団体やソフトウェア開発事業者、事業の一部にハードウェアの開発が必要となるサービス事業者やソーシャルアントレプレナーなど、幅広いスタートアップ事業者を募集します。

(2) 対象となるスタートアップのステージ

A-MAP が支援対象とするスタートアップは、以下のプレシーズ、シーズ、アーリーの各ステージにある企業または事業です。

ステージ名	事業開発の状況	目標
プレ・シーズ	解決したい課題はあるが、顧客のニーズの強さや程度は検証できていない。ソリューションや製品アイデアがいくつかあるが、具体化していない。	<ul style="list-style-type: none">● 初期の仮説構築（課題の特定、ソリューション、製品アイデア）。● 仮説検証のための簡易プロトタイプ製作準備
シーズ	初期の仮説が固まり、顧客反応や技術的課題に関する初期段階の仮説検証を行う段階にある。簡易なプロトタイプ作りに取り掛かれる段階。	<ul style="list-style-type: none">● 初期の仮説検証を複数回行い、結果を分析、学習を深める。● 必要に応じて初期仮説を修正。● MVP 開発準備
アーリー	MVP の開発に取り組む段階にある。見込み客へ向けてテストを実施し、検証する準備が進んでいる。	<ul style="list-style-type: none">● MVP の製作● MVP によるニッチ市場でのテスト● テスト結果の検証

* MVP：実用最小限の製品

最小限の労力と時間で開発できるもの。実用最小限なので、必要な全てが揃っている必要はない。

(3) 課題解決型スタートアップ

課題解決型スタートアップとは、人や社会の切実な課題やニーズに対して、具体的なソリューション（課題解決）を提供する製品・サービスの開発・事業化に取り組んでいる事業者の事です。特に以下の分野で挑戦するスタートアップを優先して採用します。

- ・ ロボット・AI 関連
- ・ グリーンテクノロジー関連
- ・ ヘルスケア関連
- ・ モビリティ関連
- ・ 教育・Edtech 関連
- ・ 宇宙開発関連

スタートアップにおいて重要なのは、「何を作るか、どう作るか」の前に「なぜ作るのか」を問う必要があります。また「その製品やサービスで持続可能な事業を構築できるか」の問いかけにも答えなくてはなりません。品質が良い製品であっても、売れない製品をいくら正確に早く作っても意味はありません。

課題解決型スタートアップがまず行うべきは、自分たちの取り組むべき課題やニーズを特定することです。何が本質的な課題なのか明確に把握することなしに、製品・サービスの開発は進められません。

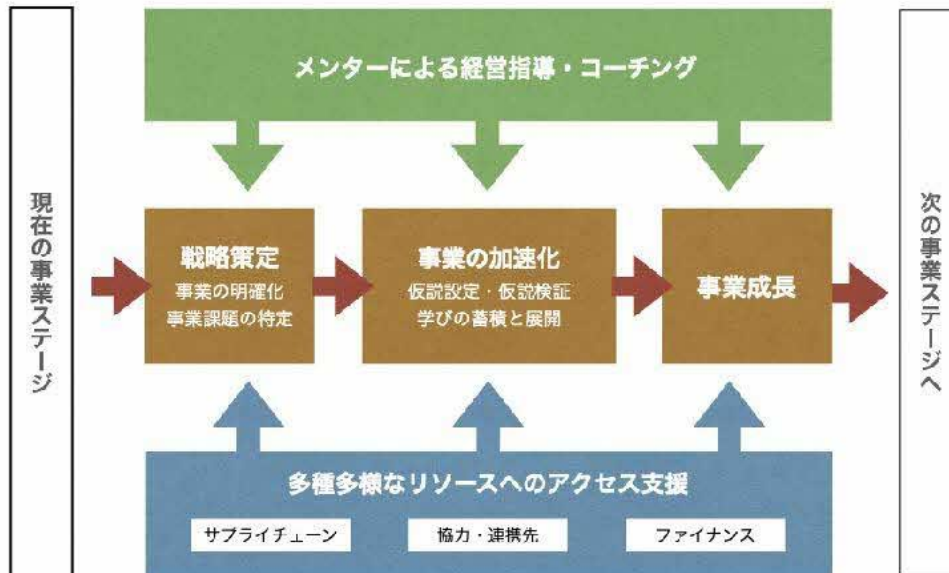
本当の顧客は誰なのか、そもそも存在するのか、という根本的な問いから始めないとけません。一般的な市場調査やヒアリングでは、回答は出ません。仮説を立て、仮説検証と結果の評価を繰り返しながら学びを蓄積し、必要に応じて方針転換しながら、進むべき道を導き出して行かざるを得ません。

(4) 8か月間の成長プログラム

A-MAP は、参加事業者の具体的な事業活動に伴走し、スタートアップに特有の課題や障壁を乗り越えて、事業の成長を目指すアクセラレーター・プログラムです。

スタートアップは、不確実で変化の激しい環境の中で未知の事業構築に取り組めます。経営資源（人材、資金、ネットワークなど）は常に不足しているので、限られた力を集中して突破口を見出す経営力が必要とされます。特有の経営マネジメントが求められますが、多くのスタートアップが、ノウハウや経験がないままに失敗の憂き目を見ています。

本プログラムでは、スタートアップ事業者が上記課題を乗り越えて事業成長することを目指して、経験豊富なメンターが伴走支援します。経営指導やコーチングに加えて、一事業者ではリーチが難しいリソースへのアクセスを足立区やメンターがお手伝いします。



3 支援内容

(1) 伴走支援

伴走支援は、次のとおり、実施されます。

メンター	TOKYO 町工場 HUB 代表 古川 拓
支援内容	面談またはオンラインでのコーチング
回数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前ヒアリング：全 2 回（各 2 時間） ・ 伴走支援：全 16 回（各回 2 時間、月 2 回の頻度、8 ヶ月間） + α ・ 最終回は、成果発表会

具体的には、参加事業者のビジョン、事業内容、成長ステージに応じて、最も重要と判断される経営課題を中心に幅広くコーチングを行います。さらに期間中の各事業者の成長に対応して、柔軟に内容をカスタマイズしながら、成長を加速させます。

<対象となる主な経営課題>

事業戦略	製品・サービス開発	サプライチェーン	マーケティング
販路開拓	業務提携	ファイナンス	人脈・ネットワーク

<第 1 期の事例>

株式会社 FAVION



【支援内容】

東京電機大学の大学院生が立ち上げた AI に強みのあるロボット開発のスタートアップ。ビジョンを明確にする対話と仮説検証を繰り返すことで、事業の方向性、製品開発の絞り込みを実施。

【参加者のコメント】

約半年間で事業の方向性ややるべきこと、他の企業との繋がりを構築することができ、今後の活動に活かせる結果を得ました。

路地裏寺子屋 rojicoya



【支援内容】

和文化を総合的にプロデュースするスタートアップ。一流の演者やアーティストのネットワークを持ち、イベント企画、北千住の古民家を活用したカフェを運営など幅広い事業を展開。対話と仮説検証の取り組みを通じて、戦略的な事業成長の道筋をつけた。

【参加者のコメント】

当たり前と思っていたところに実は強みがあって、俯瞰的に捉えるヒントをたくさん頂きました。自分たちの強み、良さ、資源を知らずに最良の組み合わせを発揮することはできない。その点がわかり、ビジョンや使命が明確になった今、熱量とスピードを増して決断していける自信と確かな確信になっていきました。これは革命的な変化だと思います。

【伴走支援の指針】

参加企業・団体が自立的かつモチベーションを持って事業を推進することが前提です。メンターは、側面から支援することに徹し、事業開発そのものをリードするような関わり方は致しません。状況に応じた問いかけや対話を中心にし、一緒に考えながらも参加事業者自身で個々の経営判断を行い、自ら道を切り開くことをゴールとします。

(2) ネットワークへのアクセス支援

調査、事業連携、販路開拓等のため、足立区および TOKYO 町工場 HUB のリソースやネットワークを活用したり、外部の企業や団体へのアクセスを支援します。

<第1期の事例>

第1期では、以下の事例を含む様々な企業や団体へのアクセスを支援しています。



【柏の葉 KOIL を視察】

FAVION 社の調査のため、柏市の柏の葉の視察ツアーを企画。柏の葉オープンイノベーションラボ (KOIL) を中心に、ドローンや自動運転の実験場視察、ドローンなどの開発支援を行う著名エンジニアとのワークショップ、スマートシティ見学などを実施。



【テンプル大学訪問】

Rojicoya の事業連携先の候補として、三軒茶屋にある米国のテンプル大学日本校を訪問。テンプル大学の6割を占める外国人学生を対象に、和文化の海外へのプロモーションを軸にした様々なコラボレーションの可能性を話し合った。

また、足立区の事業支援制度や助成金について案内し、参加事業者の希望に応じて申請のアドバイスも行います（ただし、採用を保証するものではありません）。

4 特別公開講座の開催（全4回）

A-MAP では、一般の方々に向けてスタートアップの実践に役立つ公開セミナーを開催しています。毎回、実績のある講師陣を迎え、ワークショップも行うユニークな講座になっています。A-MAP への参加事業者にも、学びの多いセッションです。

今年度の講座内容・講師については、後日、ご案内します。

<昨年度実績>

第1回公開セミナー「社会課題解決のためのプロダクトデザイン」

<https://www.city.adachi.tokyo.jp/sshinko/shigoto/chushokigyo/accelerator-koukaikouza.html>

第2回公開セミナー「スタートアップのためのファイナンス」

<https://www.city.adachi.tokyo.jp/sshinko/shigoto/chushokigyo/accelerator-koukaikouza2.html>

第3回公開セミナー「スタートアップのための自己実現と働き方」

<https://www.city.adachi.tokyo.jp/s-shinko/shigoto/chushokigyo/accelerator-koukaikouza3.html>

第4回公開セミナー「スタートアップのためのクリエイティブマインド」

<https://www.city.adachi.tokyo.jp/s-shinko/shigoto/chushokigyo/accelerator-koukaikouza4.html>

第1回 特別公開セミナー
社会課題解決のための
プロダクトデザイン
2022年 9月23日 (金・第1)
14時～17時 参加無料

第2回 特別公開セミナー
スタートアップのための
ファイナンス
2022年 10月26日 (水)
14時～16時30分 参加無料

第3回 特別公開セミナー
スタートアップのための
自己実現と働き方
2023年 2月22日 (水)
17時00分～19時30分 参加無料

第4回 特別公開セミナー
スタートアップのための
クリエイティブ・マインド
2023 03/12 (日)
10時～12時
創造的な見方や考え方
スタートアップの社会を築く力の源泉を伝える
主権：足立区 講師：吉川 拓

5 メンター紹介

メンター：TOKYO 町工場 HUB 代表 古川 拓



京都大学法学部卒。大学卒業後、銀行に入学し、日米で通算 15 年間、主に大企業の法人取引に従事した。2004 年に独立し、創造力ある人材や優れた技術を生かすことで社会課題解決に資する事業構築、ソーシャルデザイン・プロデュースの道を進む。自ら複数のスタートアップを立ち上げ、同時にベンチャーファンドの取締役、財団理事等を兼任し、国内外で活動を展開してきた。2017 年より TOKYO 町工場 HUB の事業を創業、現在に至る。2009 年より 2020 年まで 11 年間に渡り、東京大学大学院新領域創成学科の非常勤講師として同大学院の環境マネジメントプログラム「持続可能な社会のためのビジネスとファイナンス（全 10 回）」を教える（留学生対象の英語講座）。

メンターからのメッセージ

8 ヶ月間のプログラムは、スタートアップの成長への挑戦です。立ち足る様々な経営上の課題を前にして立ちすくむようなこともあると思います。私も何度も同じ思いを経験しました。スタートアップは失敗の連続です。しかし、挑戦しなければ学びも成長もありません。心の中に、強い情熱を感じているのなら、自分を信じて一歩ずつ前に進んでみましょう。

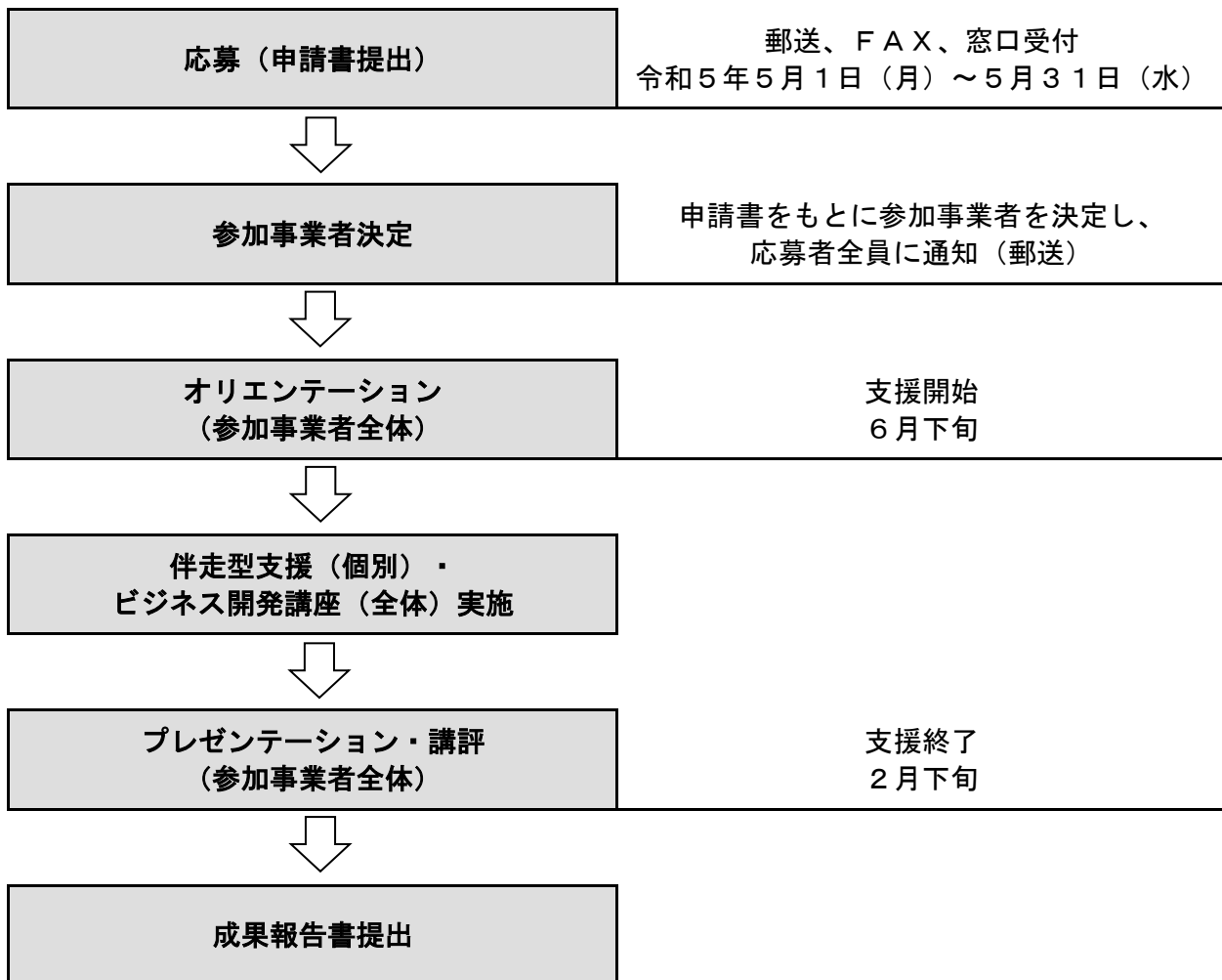
私は、ファイナンスのスペシャリストとして、また皆さんと同じ起業家として、国内外で多くの経験を積み、幅広い分野にネットワークを構築し、信頼に基づく人間関係を築いてきました。A-MAP では私自身の長年の経験と今の最先端のスタートアップの経営手法も取り入れながら、時に事業を俯瞰し、時にズームインし、多角的な視点からリスクを評価、経営判断を下せるようにお手伝い致します。

A-MAP を通じて視野を広げると、新しい自分が見えてくるはずですよ。隠れていた自分の強みを発見し、視界のレンズのピントを合わせて、未知の世界を切り拓きましょう。その実現を待つ大勢の人たちのために。

TOKYO 町工場 HUB（ホームページ：www.tokyo-fabhub.com）

代表 古川 拓

6 応募方法・支援の流れ



提出先および申請受付期間

応募方法：別紙1「申請書」に必要事項をご記入の上、郵送・FAX・窓口にて提出

提出先：〒120-8510

足立区中央本町1-17-1 足立区役所南館4階
足立区 産業経済部 産業振興課 ものづくり振興係

FAX：03（3880）5605

（土日祝日を除く 午前8時30分～午後5時15分まで）

受付期間：令和5年5月1日（月）～5月31日（水）**必着**

【注意事項】

- ・必要に応じて参考資料の添付をお願いします。
- ・受け取った申請書・資料等の守秘義務は厳守いたします。
- ・資料の返却には応じられません（当方で適切に処分します）のでご了承ください。